

1 第二公共事業本部

強み×デジタルで社会課題を解決し、健康長寿社会と安心安全な暮らしを実現する

第二公共事業本部は「健康長寿社会と安心安全な暮らしの実現」に向け、国民の皆様を支える医療保険や公的年金に関わる種々の手続きを、より正確に、より便利に、そして、他業種とのサービス連携を増やし、より付加価値が高まるよう取り組んでいる。単なる手続きの自動化、簡素化に留まらず、国民の皆様が安心して長生きできる、また、健康に過ごすために有用な情報を提供できるよう、プロアクティブに事業を推進している。

「より深く よりスピーディーに」

第二公共事業本部では、年金記録管理やレセプト電子化等、国民生活のベースとなっている仕組みを長年支え、行政サービスを提供する公的機関のお客様と共に、その時々の政策課題を解決してきた。その中で、業務ノウハウや知恵を培い、Long-term relationshipを強固にしてきた。

少子高齢化・人口減少時代を迎え、我々の事業を取り巻く環境は変化のスピードを早めている。政府は、全世代型社会保障の構築を掲げ、年金制度改革や労働市場改革など、多くの改革を急ピッチで推し進めてい

る。医療分野においては、令和4年10月に国民の保健医療の向上や最適な医療を実現するための基盤整備を推進することを目的として、医療DX推進本部を設立した。このような国が目指す変革を実現していくため、行政サービスの利便性向上に留まらず、国民の皆様の安心安全へ寄与していくことが、我々の重要なミッションであると捉えている。

第二公共事業本部は自分たちの強みを最大限発揮できるよう、官庁と民間企業が抱える課題をデジタルで解決する領域（官民デジタル領域）と、デジタルで国民の健康促進に寄与する領域（デジタルヘルスケア領域）の推進を打ち出し、機動的に対



株式会社NTTデータ
執行役員 第二公共事業本部
事業本部長 青木 千恵氏

応するための組織再編を実施した。組織再編にあたっては、医療分野を集結し、予防から介護に至るまでをカスタマージャーニーに沿って、トータルに対応できる体制を整えた。これにより、課題の根源まで踏み込み、よりスピーディーに対応できる組織を目指している。社会の変革への取り組みが減速しないよう我々がしっかり支えるため、強み×デジタルで「健康長寿社会と安心安全な暮らしの実現」に向けて挑戦していく（図1）。

官民デジタル領域での挑戦

第二公共事業本部の強みを活かした取り組みとして、サービス提供をされている各機関への丹念なヒアリ

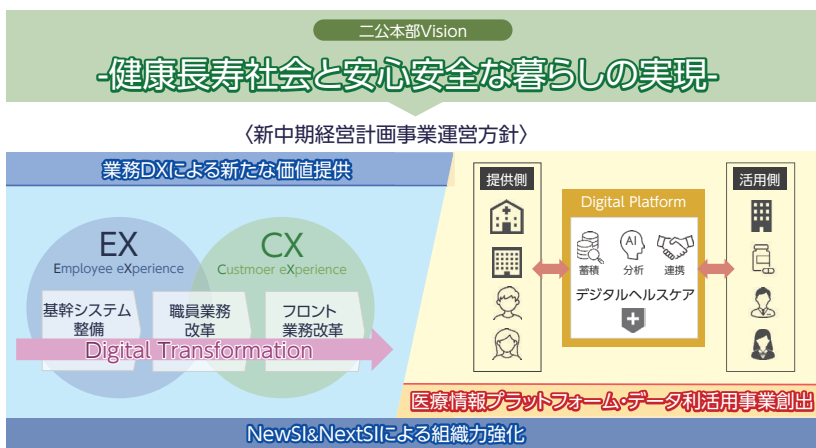


図1 第二公共事業本部の事業運営方針

ングから、ニーズの汎化やフォーマットの標準化を図り、行政機関と金融機関をつなげることで人的負担や事務処理コストの削減など、業務効率化を可能とした預貯金照会業務「pipitLINQ®」や、情報セキュリティ脅威の高度化・多様化が進む中で、行政機関のセキュリティ課題に合わせトータルサポートを行う「サイバーセキュリティ事業」がある。この取り組みは、行政機関の利便性向上に留まらず、国民の皆様の安心に寄与する先進的な取り組みである。第二公共事業本部は社会が抱える課題に向き合い、それにデジタルを掛け合わせることで新たな価値を提供できるよう取り組み続けている。

デジタルヘルスケア領域での挑戦

公的医療・健康データの基盤整備や民間活用を国が推進する中で、人生100年時代となり、健康寿命延伸とともに高齢者も元気に働き続ける社会の実現が求められている。医療DX推進本部では、「全国医療情報プラットフォームの創設」が施策の一つとして掲げられており、国民自らの予防・健康づくりを促進している。第二公共事業本部では、今まで蓄積してきた情報・データを社会全体に流通・浸透させていくプラットフォーム事業にフォーカスをあて、製薬企業の治験業務プラットフォーム「PhambieLINQ™」や、20年以上の実績を持つクラウド型の従業員健康管理サービス「Health Data Bank®」で培ったデータ利活用への取り組みを加速している。当事業をアセット化し展開することで、今後、ヘルスケア領域発展への礎となり人生100年時代に向けた健



図2 第二公共事業本部の人財戦略

康長寿社会の実現を可能としていきたいと考えている。

また、プラットフォーム事業のみならず、個別のソリューション事業へも挑戦している。病院や介護施設等、ヘルスケア業界に限らず、多様な業界とのクロスインダストリービジネスを推し進めることが、ヘルスケア領域の発展には必要不可欠と考えている。従来、ヘルスケア領域の業界ごとに培ってきたソリューション事業を、カスタマージャーニーに沿ったトータルサポートを可能とすることで、多角的に国民の健康へ寄与できる活動へ繋がると考えている。医療材料IoTプラットフォームの実現を目指す「MD-TraC®」やAI技術を活用した「エルミーゴ®」「AI画像診断支援ソリューション」「AIホスピタル」などの取り組みは、医療従事者の業務効率化に寄与し、国民の安全と健康の確保に繋がる取り組みである。このように、プラットフォーム事業と個々のソリューション事業創出の両輪で、ヘルスケ

ここからの時代を生き抜く
WHATとHOW



ア領域の発展へ貢献していく。

挑戦への土台作り

従来の発想を打ち破る大胆な事業に挑戦するためには、これまで培ってきたアセットの活用と更なるアセットの創出が必要不可欠である。それを担うのは土台となる人財であると考えている。第二公共事業本部は従来の枠組みに囚われず、新たな気づきやアイデアを発信できる人財育成を目指し、事業部横断で繋がりが議論できる場としてギグワークを実施している(図2)。異なる価値観や得意分野を持つ人財同士の交流がアイデア創出やデジタル技術獲得といった人財育成の効果に留まらず、提案につなげ新規受注を獲得するといった実ビジネスへの貢献も生まれ始めている。国民の皆様へ新たな価値を提供し、挑戦し続ける組織となるべく取り組みを継続していく。

次頁以降で代表的な取り組みの詳細を紹介する。